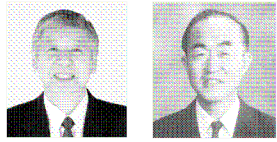


第2回定例議会報告



金子卓 堀江鶴治

被災者支援、原発からの撤退を

震災で住宅等の被害を受けた方は、確定申告をおこなうことで雑損控除等の適用を受け、所得税等を軽減することができます。対象は、住宅・物置・門・塀・家財・車両・墓石などで、控除しきれない金額は翌年以降5年間繰り越して控除できます。

り災証明・被災証明の申請を、市役所本庁・各総合支所で平日の午前8時30分～午後5時15分まで随時受付しています。

◆常陸大宮市の住宅被害

全壊 11棟、半壊 76棟、一部損壊 3,850棟 (公共建物 89棟) (7月22日現在)

◆補正予算 5月10日の臨時議会と第2回定例議会

*3月24日専決	
一般会計	6342.5万円
消防本部仮設庁舎使用料、文化センター改修工事費ほか	
*4月1日専決	
一般会計	2億3930万円
消防通信指令システム移設料、スクールバス運行料ほか	
特別会計4件	3億7954.1万円
下水道・農業集落排水・戸別浄化槽施設災害復旧工事費	
*5月10日補正	
一般会計	4億1830万円
災害見舞金、災害ごみ処分費、災害復旧工事費ほか	
特別会計1件	150万円
簡易水道災害復旧費	
*6月6日補正	
一般会計	4億3840万円
災害援護資金貸付金、中学校災害復旧工事費ほか	
特別会計3件	5968.1万円
下水道・墓地・農業集落排水施設復旧工事費	
上水道事業会計	1億4075.2万円
高濃取水口護岸工事費、導水管修繕費、災害復旧費ほか	

（市民部長答弁）
初期の目的である生活環境の保全が達成されたと思っておりますので4月

これから塀や屋根瓦などを復旧する方は、資金の裏付けや業者の都合でできない方であり、弱い立場の人です。その人が、高い産廃処分料金を負担しなければならぬのは矛盾です。ぜひ、市民にあたたかな被災者支援のひとつとして仮置き場受け入れ期限延長を求めます。

被災者支援 災害コミの受け入れ延長を

日本共産党の金子・堀江両議員は、大震災以来8度にわたり被災者支援・震災復旧の要請書を市長に提出してきました。
6月の第2回定例議会でも両議員は、要請してきた被災者支援と原発からの撤退・東海第2原発の廃炉を求めましたが、前向きな答弁はありませんでした。

住宅が被災を受けた方から、せめて修繕資金を貸し付けて欲しいとの声があがっています。災害援護資金に準じる独自の貸付け制度をつくることを求めます。

住宅の修繕費貸付を
住宅修繕に対する独自の施策は考えていません。住宅リフォーム制度は、まだ実施にいたっていませんが地域経済対策の一環です。災害の修繕のリフォームは含めないといいことで制度を進めていきたいと考えています。

（経済建設部長答弁）

28日で終了させていただきました。
被災した住宅の修繕費助成を
県内自治体でも独自の住宅等修繕助成制度をつくる自治体が出ています。当市は2ヶ月たつてやっと2万円見舞金です。市独自の修繕助成制度を求めます。

（政策審議監答弁）
市独自の制度は考えていません。
地区集会所の修繕費は全額市負担で
地区集会所が被害を受けた地域は、個人の住宅も被害を受けています。その人に、更なる負担をさせるのではなく、今回の震災の被害を受けた地区集会所の修繕費は全額市で負担してはどうでしょうか。

（市民部長答弁）

下岩瀬農村集落センター等27施設の被害報告があります。従来の施設整備補助金や地域の活性化支援交付金の活用もお願いしているところです。
（市長答弁）
地震・津波は天災、原発事故は人災であると認識しています。本市においても、市民生活、農畜産物が影響を受け、あつてはならない重大事故と認識しています。

歴代政府の「安全神話」の責任は重大

歴代政府が日本の原発では重大な事故は起こらないとする「安全神話」にしがみつき、繰り返し警告を無視して、安全対策をとらなかつた結果が福島第一原発の事故です。今の原発技術が未完成で危険なものであるという認識も持たず「安全神話」にしがみついていた国は日本のみです。政府の責任について伺います。

（市長答弁）

原子力発電は国の政策であり、国が責任を持たなければならぬと認識しています。
老朽化した東海第2原発は廃炉に
東海第2原発も極めて危ない状況だったと聞いていますが、この発電所は運転以来33年と老朽化が進んでいます。廃炉にするよう要請すべきと思いますが市長の答弁を求めます。

布川事件「無罪判決」は何を明らかにしたか。完全無罪を勝ち取った 桜井昌司さんがお話しします
「えん罪は“なぜ”つくれたか」講演会
日時 8月2日(火) 午後7～9時
会場 おおみやコミセン2階 **入場無料**
◇「元被告が語る 苦闘の44年、その真実とは」
主催/日本国民救援会茨城常陸大宮支部
問合せ先 堀江仙三(58)2718

（市長答弁）
廃炉の要請ですが、県や東海村・国の動向を見守っていきたくて現時点では考えていません。

（市長答弁）

独立した強力な権限を持つ原子力の規制機関を
自然エネルギー活用、低エネルギー社会への転換を
原発からの撤退
いまこそ決断を **日本共産党**
*日本共産党は、「原発からの撤退」「東海第2原発の廃炉」を求め署名運動にとりかかっています。

日本共産党
常陸大宮市議会報告
2011年7月 第19号 発行/日本共産党常陸大宮市議団
金子卓(岩崎272-4) 堀江鶴治(大岩23)
☎(52)2422 ☎(56)3030

第3回定例議会は
9月1日に開会します
請願・陳情は8月25日(木)
まで(15時)願うことが出来ます。

原発ゼロへ
7月2日、東京・明治公園で開かれた「原発ゼロをめざす緊急集会」
福島から全国から2万人

独立した強力な権限を持つ原子力の規制機関を
自然エネルギー活用、低エネルギー社会への転換を
原発からの撤退
いまこそ決断を **日本共産党**
*日本共産党は、「原発からの撤退」「東海第2原発の廃炉」を求め署名運動にとりかかっています。

6月議会

一般質問

答弁も含めて

一時間の時間制限は改善を

議員の持ち時間制を提案



6月1日に開会された第2回定例議会は、10日に5人、13日に3人、そして14日に3人の一般質問をおこない、閉会しました(今議会は各常任委員会に審議を付託された議案がなかった)。

今議会は、震災対応・被災者支援・災害復旧など、また3月議会で一般質問が中止されたこともあり議員の半分の11人が活発に一般質問をおこないました。しかし、質

り質問の制約をうけてしまうことはおかしなことですし、答弁を考えて質問項目を少なめに通告することは議会の活性化に反することと考えます。

この課題を改善するために、他市議会でおこなわれている質問者の質問持ち時間制を採用することが必要と考えます。持ち時間制にすれば、質問の組み立ては質問者自らの責任となります。

日本共産党の金子卓・堀江鶴治両議員は議会終了後、議長と議会運営委員長に対し、「次回の第3回定例議会の一般質問で、質問時間30分の持ち時間制を試行すること」を文書で申し入れました。

「記念講演会」が共産党のホームページでもらえます

日本共産党は7月15日、1992年の創立から89周年を迎えました。8月1日には、党創立記念講演会を東京・新宿区の日本青年館で開催します。志位和夫委員長が記念講演し、東日本大震災・原発事故の被災地から日

本共産党の岩手、宮城、福島各県委員長があいさしします。震災・原発事故後の危機のなかで、政治のあり方が根本から問われていきます。このなかで開かれる記念講演会は、日本のすすむべき道はどこにあるかを参加者と一緒に考えます。

日本共産党 創立89周年 記念講演会



大震災、原発事故—日本のあり方が問われている日本がすすむべき道は日本共産党の役割は

記念講演 志位 和夫 委員長がお話します
党若手副委員長 菅原 則勝
党常務委員 中島 康博
党福島県委員長 久保田 仁

8月1日(月) 午後6時30分~

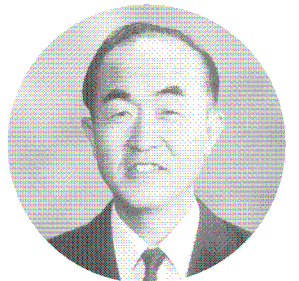
共産党のホームページをご覧ください
<http://www.jcp.or.jp/>
携帯用ホームページ
<http://www.jcp.or.jp/i/>

あなたもお読みください

しんぶん 赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月 800円

※申込みは、金子・堀江両議まで



堀江鶴治議員

日本共産党の堀江鶴治議員は、6月議会の一般質問で福島原発事故の問題を取りあげました(1面)。また、原発事故による農畜産物の被害額を質問しました。

(経済建設部長答弁)

農畜産物の出荷制限や風評被害は、現在のところおよそ1億4000万円になる見込みです。損害賠償請求の受付が本日から始まっていますので、増加すると見込まれています。

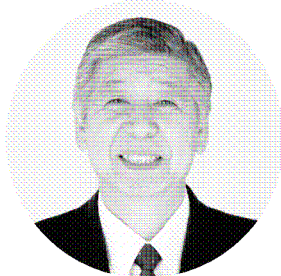
「本当」が知りたいあなたへ 他紙にない情報・視点が満載 「しんぶん赤旗」

「原発は共産党の情報が一番信用できる」「しんぶん赤旗」がいま注目を集めています。FMラジオが九電「やらせ」メール問題で「赤旗」の役割を正面からとりあげたり、ブログで軍事ジャーナリストが「情報としても『赤旗』は質量ともに突出している」と紹介したり。他紙にならぬ情報・視点が満載の「赤旗」をぜひお読みください。

今回の補正予算で放射線測定器の購入が議決されたので、早く購入し、児童・生徒等に情報を提供していきたいと考えています。

その他の質問

■中学校の統廃合・文化団体の補助金削減 中学校教科書採択など



金子卓議員

金子卓議員は震災の被災者支援を取りあげました(1面)。また、市の地震対策の問題を質問しました。

震災の初期対応、調査結果の整理と報告は

被災家屋・被災者の把握、災害弱者の安否確認など初期対応ですが、調査結果をどのように整理したのでしょうか。また協力いただいた区長さんや民生委員の方に結果を報告したのでしょうか。

(市民部長答弁)

大宮地区は8班を編成し、また各総合支所ごとに調査をおこない、対策本部に報告しました。民生委員の方が各要援護者のところに行つて様子を見てもらいました。(結果報告については答弁なし)

不十分な災害情報

市民は正確な災害情報を切望していたのに、3月25日発行の「お知らせ版」の発行を休刊とし(4月11日に発行)、代わりの対応をとらなかったのはなぜですか。近隣の常陸太田市や那珂市では3月中旬に新聞折込みや配達地域指定ゆうメールで市民に災害情報を届けました。市のホームページですが、今回の震災に対しての情報量が少なすぎます。

(市民部長答弁)

委託している印刷業者が被災し、送らざるを得なかった。ホームページの利用者も増加し、ますます重要な広報媒体となつていくので、より見やすい画面構成に心がけます。

少なすぎた給水量

自衛隊の給水が始まっても2リットルの給水は少なすぎ問題です。

(市民部長答弁)

各配水池の残量等を考慮したなかでの各家庭2リットルで給水。自衛隊の給水も勝田まで取りに行く方法で緩和できるほどの量ではないと判断したと思われれます。

その他の質問

■福祉タクシーの質問は「時間がなくなつた」と答弁を打ち切られました。

仕事・くらしの悩み
お気軽に相談を

日本共産党

連絡先 ケータイ
金子すくろ議員
090-1994-7696
堀江かくじ議員
090-4824-0797